

養護と教育 ～充実した毎日の生活のなかで～

『養護と教育』が一体となった『総合的な保育』とは？

保育園での「養護と教育」とは、家庭保育をサポートする「**養護機能**」と健康等の5つの領域に関わる心情、意欲、態度などを育成する「**教育機能**」から構成されます。

また、養護と教育の関係は同じ位置（並列）に並ぶのではなく、安定した養護（生命の保持及び情緒の安定）の下でないと教育は成り立たないと考えています。

養護

十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持（子どもの本能的な生きる力）及び情緒の安定をはかる。

教育-健康

健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。

教育-人間関係

人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに、自主、協調の態度を養い、道徳性の目場を培う。

教育-環境

自然や社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培う。

教育-言葉

生活の中で、言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり、聞いたりする態度や豊かな言葉を養う。

教育-表現

様々な体験を通して、豊かな感性を育て、創造力の芽生えを培う。

これらはすべて、**一人ひとりの特性に応じ、発達課題を配慮した上で行われ、子どもが自発的、意欲的に関われる環境の構成と豊かな遊び**を通しての「**総合的な保育**」によってもたらされます。